

中国で「オンライン配信日本映画祭」を開催

6日間でアクセス数 190 万を記録

～高良健吾氏や周防正行監督らと中国人人気俳優・監督とのトークイベントも配信中～

国際交流基金は、2020年6月11日から、中国の大手配信会社テンセントビデオとの共催で、同国にてオンライン配信による日本映画祭を実施しています。

本事業では、テンセントビデオが配信権を有する日本映画 61 作品を会員向けに配信中です。同社の会員数は 1 億人を超えており、日本映画祭特設ページ公開から 6 日間でアクセス数（PV 数）が 190 万を超えました。

中国で人気の俳優マーク・チャオ氏が映画祭アンバサダーを務めていることも話題となっています。映画配信のほかトークイベントも実施しており、6月14日には『横道世之介』の沖田修一監督・主演の高良健吾氏・西ヶ谷寿一プロデューサーによる対談が配信されました。対談映像は日本国内からでも視聴可能（映画作品は中国国内の会員限定）で、映画祭期間中、引き続き、『キングダム』佐藤信介監督、『Shall we ダンス?』周防正行監督とのスペシャル対談の配信も予定しています。対談の詳細・予定は、次ページでご確認いただけます。

国際交流基金は、2017年「日中国交正常化 45 周年」、2018年「日中平和友好条約締結 40 周年」と外交上の節目を記念し、日中両国で互いの映画を紹介する映画上映会を開催し、2019年度も中国 9 都市で日本映画の上映会を開催。中国において日本映画を楽しむことのできる機会を継続的に創出しています。また、「いつでも、どこでも日本映画」をキャッチフレーズに、ASEAN 諸国、豪州、中国、インド、ロシアにおいて、最新の日本映画を各国語字幕付きで提供する JFF（Japanese Film Festival）を展開。2020年10月からは、順次各国でオンライン配信日本映画祭も開催すべく準備を進めています。



『横道世之介』

©2013 "A Story of Yonosuke" Film Partners

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 コミュニケーションセンター（広報担当：熊倉、原田）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: press@jpf.go.jp



HARADA

中国でも映画制作の限られたところには、オンライン配信の大きな注目を集めています！

